

平成23年度
実施事業

事務事業名 三市スポーツ大会事業経費

区分	No	名称
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち
節	4	生涯学習活動の促進
施策	1	生涯にわたるスポーツ活動の推進
小分類	3	競技スポーツの推進
主要な施策	3	交流を通じて豊かな心の育成
事務事業番号	001	事業開始年度 昭和 54 年度 事業終了年度 平成 - 年度 会計種別 一般会計

部 名	教育部	グループ名
-----	-----	-------

事務事業の概要

《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	3市(登別・室蘭・伊達)の小学生のスポーツ交流を通して、少年の健全育成を図る。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成23年度の実績を具体的に記入してください)
	3市(登別・室蘭・伊達)の小学生のスポーツ交流大会を実施。 【平成23年度】 ・夏季：陸上競技大会(室蘭市入江運動公園陸上競技場) これまでの競技 ・夏季：陸上競技 ・冬季(H20から廃止)：スキー、スケート、ドッチボール、歩くスキー、雪合戦
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	平成24年度からは、6市町スポーツ交流会事業として西いがり定住自立圏構想の対象事業として実施する。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)
	登別市スポーツ振興基本計画

事業費(財源内訳)の推移

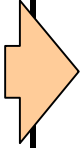
《Plan・Do》

区分		単位	H22年度 決算	H23年度 決算	H24年度 当初予算	H25年度 見込	H26年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円	184	150	186	186	186
事業費合計			184	150	186	186	186

指標の推移

《Check》

区分		単位	区分	22年度 実績	23年度 実績	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	夏季大会参加者数	人	目標値	100	100	70	70	70
			実績値	73	59			
			目標値					
			実績値					

現況		《Check》
現状の状態、問題点、課題等《事業前》	具体的な対策、解決の方向性《事業後》	
三市の児童が交流する機会が少ない中、交流する貴重な機会となっているが、参加者が減少傾向にある。	参加者のニーズを把握しながら、競技を実施することで、児童の交流や参加者の増加を図る。	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可）		《Check》	
1. 事務事業の妥当性について			
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？		市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見 三市の小学生がスポーツを通して健全育成と相互交流を深めるため、市が実施することが妥当である。
		民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である	
		国、道、他団体等との連携や広域化が可能である	
		国、道、民間等の事業と重複・類似している	
2. 事務事業の必要性について			
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？		市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見 三市の児童が交流する機会が少ない中、交流する貴重な機会となっている。
		市民アンケートの結果から必要性が高い	
		社会情勢、地域事情等から必要性が高い	
		市民の大部分が関連することから必要性が高い	
3. 事務事業の効率性について			
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？		低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見 三市の負担金がほとんどであり、現在の予算で事業を行う必要がある。
		市で実施するほうが民間委託より効率性が高い	
		多額の経費や労力を要するがやむを得ない	
		将来的に効率性を向上できる	
4. 事務事業の成果について			
目的を達成するための成果はあがっていますか？		成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見 事業を通して、児童の交流が図られた。
		市民、団体等の声から成果を感じられる	
		目に見える形で成果があがっている	
		成果の把握は困難である	

担当グループによる評価		《Check》
維持	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	児童の健全育成や交流に繋がる事業であるため、継続が必要である。

行政評価会議による評価		《Check》
維持	備考	